

# 広報やまとで振り返る 大和市の「平成」

5月1日(祝)の改元を控え、平成も残すところ約2週間となりました。平成最後となる今号では、平成に発行された広報やまとの表紙とともに大和市の平成を振り返ります。

〒市役所広報広聴課広報係 ☎(260) 5313 ㊟(261) 4592



## 平成元年2月1日号

大和市にとっての平成元年は、市制30周年となる節目の年でした。キャッチフレーズに「人と街との好感度宣言」を掲げ、市のシンボルカラー「若みどり」と、市の鳥「オナガ」を制定。なお、当時の広報やまとはタブロイド判6号で発行していました。



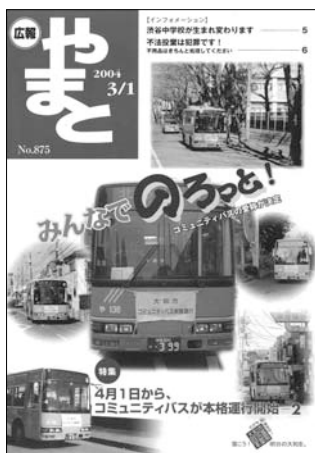
## 平成5年2月1日号

大和駅の相鉄線地下化の進捗を特集。6か所の踏切をなくしてプロムナードを整備しました。当時、合宿で大和を離れていたある高校生は、帰宅時の相鉄線が不意に地下に潜ったため、電車を乗り間違えたのではないかととても驚いたということです。



## 平成10年10月1日号

平成10年10月、「かながわ・ゆめ国体」が開催され、大和市はバドミントンと高校野球(硬式)の会場となりました。バドミンントンの初日には天皇・皇后両陛下がご来場。野球では、この年の甲子園春夏連覇を遂げた松坂大輔選手擁する横浜高校が出場しました。



## 平成16年3月1日号

平成16年4月、コミュニティバスが本格運行を開始。愛称「のろっと」としてスタートを切り、今では市民の日常の足として定着しています。現在はワゴン車で運行する「やまとんGO」も登場。及川正通さんによる車両デザインはおなじみとなっています。



## 平成19年7月1日号

高齢化を見据えた介護予防の取り組みを特集。現在この取り組みはますます充実し、健康遊具体験会やタブレットを使った認知機能チェックなども実施しています。この号では、現在の広報やまとでおなじみのキャラクター「大和さん一家」が初登場しました。



## 平成28年11月1日号

今や大和市を代表する施設となった文化創造拠点シリウス。図書館を中心に、ホールや生涯学習センターなどを複合し、それまでになかった公共施設として誕生しました。年間来館者数は2年連続で300万人、累計来館者数も4月1日時点で734万人を超えています。